



カムリウミスズメ

門川町教育研究所

ふれあい

平成22年9月 NO4
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

1週間早く2学期が始まりました！

今年は、昨年より1週間早く2学期がはじまりました。中には、なかなか調子が出ない人もいるのではないかと思います。早起き、早寝、朝ご飯パワーで生活のリズムをつくりましょう。

門川町教育研究所は、夏休みの間に様々な研究活動を行いました。今回の「ふれあい4号」では、夏休み期間中の研究活動の紹介や確かな学力をつけるために、2学期はどんな生活や学習の工夫が必要かを紹介したいと思います。是非、役立ててください。

～ 夏休み中の研究所の活動紹介 ～

夏季研修

研究員の知識や教養を深め、これからの研究活動を充実するために、8月17日(火)、宮崎県教育研修センターで勉強してきました。

研究のテーマは、門川の子どもの学力を高めるための授業の工夫やドリル学習の工夫です。研修センターの先生と一緒に一生懸命勉強をしました。教育研究所では、この研修の成果を生かして10月に研究授業や研究会を行い、門川町内の先生方に見ていただくことにしています。



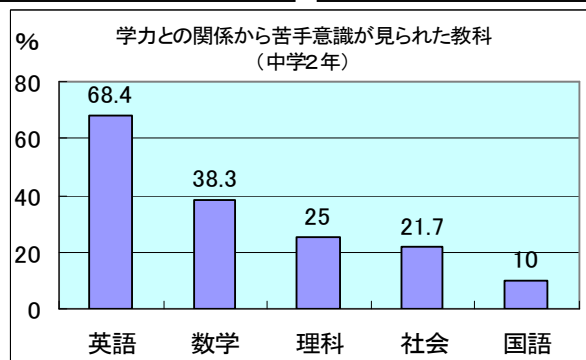
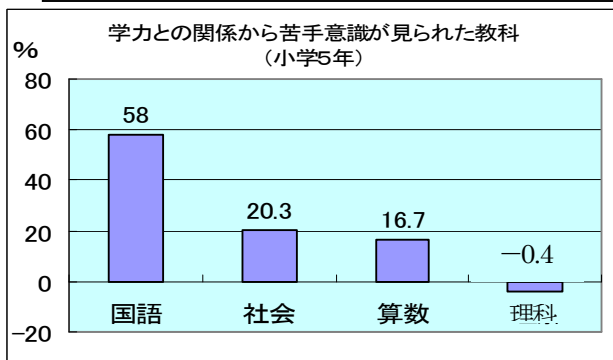
(教育研修センターでの研修)

2学期こそ、苦手な教科を克服しよう！

門川町の小学5年生は国語、中学2年生は英語が苦手！？

4月、小学5年・中学2年を対象に、みやざき学力・意識調査が行われました。門川町の結果をもとに、学力をしっかりと育てるためのヒントをさぐり、紹介します。

平成22年4月実施
小学5年・中学2年の
学力・意識調査から



学力が高いグループとそうでないグループで、好きな教科を調べたところ、好き嫌いの差が一番大きかったのは、小学5年生では国語、中学2年生では英語でした。このことから、学力の差によって苦手意識が一番大きくあられ、学力と深く関係しているのは、小学5年では国語、中学2年では英語ということが言えそうです。

誰でも苦手な教科はあると思いますが、この苦手教科をがんばると、学力が見ちがえるように伸びてきます。勉強に自信がつかます。苦手だからこそがんばるという気持ちで、苦手のかべを乗り越え、学力アップをめざしましょう。

2学期、確かな学力を身につけるために！

学力が上位だった子どもたちが、家庭学習や毎日の生活で大切にしている、学力と深く関係していることを紹介します。

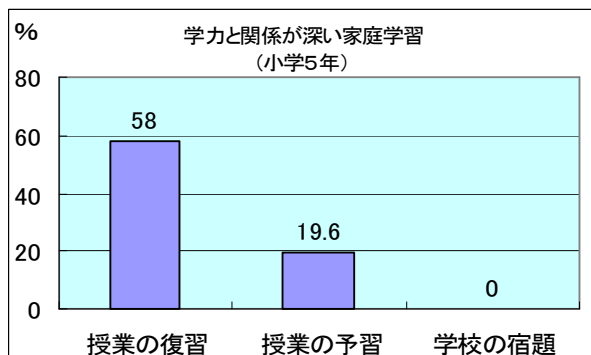
(グラフの数字は、学力上位と下位の子どもの意識の差を%で表しています。差が大きいほど学力と関係していると考えられます。)

みやざき学力・意識調査

(門川町の結果) から

【小学5年・中学2年】

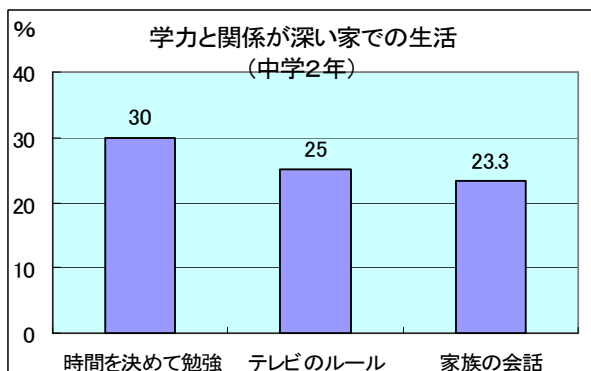
宿題だけでなく、授業の復習もしっかりする子は、学力が伸びる！



学力上位の子どもは、学校の宿題をするだけでなく、授業の復習もよくやっていることがわかりました。また、グラフでもわかるように、授業の予習をすることより、復習をしっかりやるのが大切だと言えそうです。

その日に習った授業の内容を、しっかり復習し、それを毎日積み重ねることで、学習したことがしっかり身に付き、学力が高くなるというわけです。

時間を決めて勉強する、テレビのルールを守る子は、学力が伸びる！



学力が上位の子どもは、時間を決めてしっかり勉強しています。また、テレビなどのルールを決めたり、家族との会話を大切にしたりするなど、きまりよい生活をしていることがわかりました。

まず、勉強時間を決め、他の時間でテレビをみたり、家族団らんを楽しんだりするなど、きまりよい生活をするのが、学力を高めるために大切なことと言えます。

教育研究所からのメッセージ

ここで紹介したことは、どれも当たり前のことですが、これを実行すること、継続することこそがとても大切です。

- 家庭学習では、授業の復習を中心に、くり返し練習に力を入れましょう。
- 毎日の生活では、勉強を生活の中心に位置づけ、遊びや・テレビなどの時間のルールを決めて、きまりよい生活をおくりましょう。

子育てや教育のことなどで、悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）

63-1566

~~~~~返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。）~~~~~